

令和5年5月期 業務実績報告書（経営総務課）

一 般 事 項

1 水道料金調定関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,495	60,861	61,000	61,065	△ 139	△ 204
2 調定量	m ³	640,118	1,244,740	1,270,000	1,284,941	△ 25,260	△ 40,201
3 調定料金(税抜)	円	172,495,337	336,651,054	339,000,000	345,463,367	△ 2,348,946	△ 8,812,313
4 口振加入件数	件	25,050	49,963	—	50,155	—	△ 192

2 下水道使用料調定関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	19,072	38,197	38,344	37,724	△ 147	473
6 調定量	m ³	387,557	764,197	778,900	780,806	△ 14,703	△ 16,609
7 調定料金(税抜)	円	61,675,537	121,888,897	124,251,000	124,152,683	△ 2,362,103	△ 2,263,786

3 給水業務関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	73,992	—	75,371	△ 1,379
9 給水件数	件	30,245	—	30,383	△ 138
10 開栓処理件数	件	207	704	853	△ 149
11 閉栓処理件数	件	324	580	630	△ 50
12 給水工事設計審査	件	35	106	89	17
13 給水工事竣工検査	件	39	94	136	△ 42
14 経年メーター交換	件	162	324	988	△ 664
15 メーター口径変更	件	2	4	12	△ 8
16 督促状発送数	件	1,320	2,702	2,687	15
17 月末停止件数	件	102	—	87	15

4 排水設備業務関係

項 目	単位	A 当当期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	29	74	64	10
19 排水設備工事完了検査	件	25	65	59	6

5 水道料金徴収関係

項 目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
20 当年度分	197,312,843円	46.72%	201,322,533円	47.00%
21 過年度分	6,088,015円	96.69%	5,920,648円	96.84%
22 計	203,400,858円	-	207,243,181円	-

6 下水道使用料徴収関係

項 目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
23 当年度分	79,903,859円	40.40%	82,741,529円	39.73%
24 過年度分	3,483,398円	95.44%	3,869,126円	95.07%
25 計	83,387,257円	-	86,610,655円	-

7 受益者分(負) 担金徴収関係

項 目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同月末未収額	D 収納率
26 当年度分	0円	-	0円	-
27 過年度分	1,436,700円	17.51%	1,974,500円	10.68%
28 計	1,436,700円	-	1,974,500円	-

登米市 水道・下水道事業キャラクター



スイちゃん ジョーくん 水守(みもる)さん

特 記 事 項

1. 5月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

- ・上水道事業
- ア 収益的収支

当期の給水収益は189,745千円(税込)で、前月期に比べて9,174千円の増、対前年同月比では2,669千円の減となっています。営業収益は190,180千円、営業外収益は事務手数料5,084千円となりました。当期の営業費用は委託料や動力費など97,235千円、特別損失は58千円を執行しました。

- イ 資本的収支

当期の収入は、加入金660千円の執行となりました。支出は、建設改良費として工事請負費や職員給与費などを含む事務費として262,817千円を執行しました。

- ・下水道事業
- ア 収益的収支

当期の下水道使用料は67,845千円(税込)で、前月期に比べて1,612千円の増、対前年同月比では524千円の増となっています。営業収益は67,847千円、営業外収益は、雑収益1千円を執行しました。

当期の営業費用は委託料や動力費など82,630千円を執行しました。

- イ 資本的収支

当期の収入は、ありませんでした。支出は、建設改良費として事務費2,237千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 令和4年度決算書を提出しました

令和4年度水道事業会計及び下水道事業会計決算を調製し、5月19日付で市長へ提出しました。概要は次のとおりです。

①水道事業会計

令和4年度の業務量は、配水量9,284千m³、有収水量7,598千m³で配水量に対する有収水量の率(有収率)は81.9%で、前年度比1.2ポイントの減となりました。

収益的収支(税抜)は、水道事業収益が23億9,190万円で、その85.0%を占める給水収益は、給水人口の減少により水量が減少し、前年度比では2,228万円の減額となりました。

水道事業費用は24億4,433万円で、電気料金の高騰による動力費の増加や令和4年7月に発生した大雨による災害復旧費等の増加により前年比2,239万円の増となり、当年度純損失は5,243万円となりました。

②下水道事業会計

令和4年度の業務量は、水洗化世帯数は19,307件で、前年度比284件の増となりました。

収益的収支(税抜)は、下水道事業収益が36億3,291万円で下水道使用料が7億4,172万円であり、前年比135万円の減となっています。その他の収入は他会計補助金が15億3,911万円、長期前受金戻入が12億9,276万円となりました。

下水道事業費用は35億8,223万円で、電気料金の高騰による動力費の増加や令和4年7月に発生した大雨等による災害復旧費の増により前年比5,574万円の増となり、当年度純利益は5,068万円となりました。

(2) 上下水道モニター会議を開催しました

5月26日(金)に第3回上下水道モニター会議を開催しました。会議では、上下水道事業への意見や要望としてお客様サービスの向上を図るために実施したアンケート調査結果の報告や、水道料金及び下水道使用料の改定などについての説明を行いました。



【モニター会議の様子】

令和5年5月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	825,995	1,627,140	1,585,240	1,699,853	41,900	△ 72,713
総配水量	774,631	1,523,612	1,481,540	1,583,831	42,072	△ 60,219
1 有効水量	671,228	1,306,681	1,334,900	1,379,199	△ 28,219	△ 72,518
(1) 有収水量	644,568	1,253,639	1,278,800	1,293,804	△ 25,161	△ 40,165
(2) 無収水量	26,660	53,042	56,100	85,395	△ 3,058	△ 32,353
2 無効水量	103,403	216,931	146,640	204,632	70,291	12,299
(1) 漏水量	102,935	216,417	145,400	199,078	71,017	17,339
(2) その他無効水量	468	514	1,240	5,554	△ 726	△ 5,040
3 有収率	83.21%	82.28%	86.32%	81.69%	-4.03%	0.59%

※ 当月期の最大配水量は、2日（火）に記録した【27,121m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	1	11,000	0	0	0	0	11,000	0.0%
浄水施設整備事業	8	182,105	3	31,654	0	0	150,451	17.4%
配給水施設整備事業	57	1,294,397	0	0	0	0	1,294,397	0.0%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 大萱沢浄水場遮光ネット設置

5月25日（木）、大萱沢浄水場において、浄水施設等管理運営業務受託者により、ろ過池へ遮光ネットを設置しました。これは、ろ過池に直射日光があたり水温の上昇や紫外線によって、藻類が発生するのを予防するため、毎年行っています。

また、保呂羽浄水場でも遮光ネットを設置する予定です。



【遮光ネット設置状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	3	2.072
	付属施設	0	0.000
	給水装置	12	2.354
計	15	4.426	

【漏水調査結果：5月】

※参考：漏水量削減効果（金額換算）
約29,508円/日当たり
算定：R3年度給水原価 277.79円
累計漏水量 4.426m³/h
4.426m³/h×24h×277.79円

2 積算システム研修会を実施

積算システムの操作能力の向上、理解度を深めることを目的として積算システム操作研修会を5月12日（金）に実施しました。

研修会は、積算業務初心者向けの初級編を実施し、人事異動できた若手職員3名が参加しました。

参加者は、講師からのシステムの基本操作等の説明を受けながら、実際にシステムを操作し、工事設計書の作成などを行いました。

今後は、経験者向けの積算業務中級編を実施し、再確認することとしております。

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道(迫・中田・登米・南方)	284,699	547,617	557,776	△ 10,159		1処理場
特定環境保全公共下水道	52,716	102,019	108,622	△ 6,603		3処理場
米谷・錦織処理区	11,264	21,513	22,351	△ 838		
豊里処理区	30,352	58,945	63,245	△ 4,300		
津山処理区	11,100	21,561	23,026	△ 1,465		
流域関連特定環境保全公共下水道(石越)	11,643	23,122	24,151	△ 1,029		
農業集落排水	122,788	224,401	229,157	△ 4,756		24処理場
迫地区	8,875	16,715	19,956	△ 3,241		
東和地区	2,878	5,610	5,623	△ 13		
中田地区	33,603	63,139	63,756	△ 617		
豊里地区	1,977	3,704	3,975	△ 271		
米山地区	54,283	95,325	94,887	438		
南方地区	21,172	39,908	40,961	△ 1,053		R5.4.1時点
浄化槽(特地・個排)	44,215	86,548	86,111	437		2,099基
合計	516,061	983,707	1,005,817	△ 22,110		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	10	319,909	0	1,531	0	847	317,531	0.7%
ポンプ施設整備事業	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
処理施設整備事業	85	300,390	12	2,975	0	110,650	186,765	37.8%

※金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計金額を記載。件数は、更新工事を除いた件数を記載。

特記事項

1 下水道処理施設の放流水の水質検査を実施

令和5年5月10日に豊里浄化センター・米山町の西野地区・中津山地区・善王寺地区・平塚地区の農業集落排水処理施設において、宮城県石巻保健所による放流水の水質検査が行われました。

今回の検査において対象となった5箇所の処理施設の放流水については、全て水質基準値内となっており、問題はありませんでした。



【試料採取状況】

2 汚水管渠築造工事の完了

登米町寺池桜小路地区の汚水管渠築造工事が完了しました。この工事は、開削工法及び推進工法による管路(施工延長L=52.1m)、マンホール(N=3基)の整備を行ったものです。

工事完了後は掘削部分の仮復旧の状態でご交通開放を行っており、道路舗装の本復旧は、引き続き建設部道路課で実施する道路改良工事で行う予定となっております。

○浄化槽整備事業受付状況 (5月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	25	55